

# Narita Airport News

## NAN

2018年12月3日号 No.323  
成田空港の運用状況(2018年10月)

区 分	8月	9月	10月		日平均	
			前年同月比(%)	前年同月比(%)		
<b>航空機発着回数(回)</b>	22,311	21,699	103	21,996	103	710
国際線	17,603	17,349	105	17,476	104	564
旅客便	15,602	15,090	106	15,166	104	489
貨物便	1,794	1,974	96	1,985	100	64
その他	207	285	144	325	148	10
国内線	4,708	4,350	95	4,520	100	146
旅客便	4,619	4,207	95	4,382	100	141
貨物便	26	54	64	49	69	2
その他	63	89	144	89	133	3
<b>航空旅客数(人)</b>	4,003,567	3,701,649	109	3,605,392	105	116,303
国際線	3,295,539	3,109,292	113	2,986,978	106	96,354
日本人	1,541,866	1,459,635	112	1,190,664	108	38,409
外国人	1,433,975	1,370,141	120	1,498,080	108	48,325
通過客	319,698	279,516	90	298,234	92	9,620
国内線	708,028	592,357	92	618,414	101	19,949
<b>国際航空貨物量(t)</b>	168,510	190,981	98	193,691	99	6,248
積込	83,355	97,870	102	95,113	100	3,068
輸出	58,012	74,858	122	71,142	119	2,295
仮陸揚	25,343	23,012	67	23,971	69	773
取卸	85,155	93,111	95	98,578	98	3,180
輸入	62,182	72,370	109	76,703	112	2,474
仮陸揚	22,973	20,741	65	21,875	69	706
<b>給油量(kl)</b>	373,805	366,949	100	376,584	103	12,148

(注) 1. 9月、10月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

### 羽田空港の運用状況

区 分	8月	9月	10月	
			前年同月比(%)	日平均
国際線(人)	1,576,642	1,515,411	108	50,514
日本人	931,994	894,592	107	29,820
外国人	644,648	620,819	109	20,694
国際航空貨物量(t)	50,045	54,890	108	1,830
積込	23,269	26,301	111	877
取卸	26,776	28,589	105	953

(注) 1. 国際線旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

### 航空機発着回数

前年同月比+3%(710回増、一昨年同月比+5%)で、10月として過去最高となりました。

国際線発着回数は、前年同月比+4%の17,476回となり、10月として過去最高となりました。

### 航空旅客数

前年同月比+5%(184,896人増、一昨年同月比+8%)で、10月として過去最高となりました。

国際線旅客数は、前年同月比+6%の2,986,978人で、10

月として過去最高、うち外国人旅客数は、前年同月比+8%の1,498,080人で10月として過去最高となりました。

国内線旅客数は、前年同月比+1%(3,861人増)の618,414人で、昨年12月以来前年同月を上回り10月として過去最高となりました。通過客は、前年同月比▲8%(24,438人減)で前年同月を下回りました。

### 国際航空貨物量

前年同月比▲1%(1,350トン減、一昨年同月比+1%)となりました。

仮陸揚貨物量は、8カ月連続で減少しています。

# NAA 中間連結決算は民営化以降第2位

NAAは、2019年3月期(2018年度)の中間連結決算と通期見通しを発表しました。

中間連結決算は、営業収益1,251億円(前年同期比10.6%増)、営業利益311億円(同24.5%増)、経常利益303億円(同30.6%増)、中間純利益は205億円(同14.5%減)で、前年同期に特別利益に計上した厚生年金基金の代行返上益がなくなったことから減益となりましたが、民営化以降第2位となりました。

中間期の航空取扱量では、航空機発着回数は、国際線貨物便、国内線における運休や減便があったものの、アジア方面を中心に国際線旅客便の新規就航や増便等により、12.9万回(前年同期比1.0%増)となり7期連続で開港以来最高となりました。

航空旅客数は、国内線は362万人(同5.9%減)でしたが、国際線は旺盛な訪日需要等を背景に外国人旅客が大きく伸長したことから1,811万人(同8.5%増)となり4期連続で開港以来最高となりました。

国際航空貨物量は、輸出入貨物が好調に推移しましたが、仮陸揚貨物が減少したことから前年同期と比べ減少となりました。

通期連結業績予測の連結決算では、営業収益は2,484億円(前期比7.4%増)、営業利益は515億円(同10.5%増)、経常利益は492億円(同13.8%増)と、いずれも民営化以降最高を更新する見通し。当期純利益は、前年度に特別利益に計上した代行返上益がなくなることから319億円(同11.2%減)で、民営化以降第2位となる見通しです。

航空取扱量の見通しでは、航空機発着回数は、国際線旅客便が引き続き旺盛な訪日需要を背景に、アジア方面を中心に新規就航や増便等が見込まれることから25.6万回(前期比1.2%増)。

航空旅客数は、国際線で引き続きアジアを中心とした旺盛な訪日需要による外国人旅客が増加することに加え、日本人旅客も好調に推移することから4,368万人(同6.7%増)となる見通しです。

NAA連結決算

(単位:億円)

区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)				当初予想 (5月11日 発表)
	2017年度 実績 A	2018年度 実績 B	増減		2017年度 実績 C	2018年度 予想 D	増減		
			金額 B-A	% B/Ax100			金額 D-C	% D/Cx100	
営業収益	1,131	1,251	119	110.6	2,312	2,484	171	107.4	2,455
営業利益	250	311	61	124.5	466	515	48	110.5	495
経常利益	232	303	71	130.6	432	492	59	113.8	463
中間(当期)純利益	239	205	▲34	85.5	359	319	▲40	88.8	293

(注)決算数字は、単位未満を切り捨てて表示

成田空港 航空取扱量

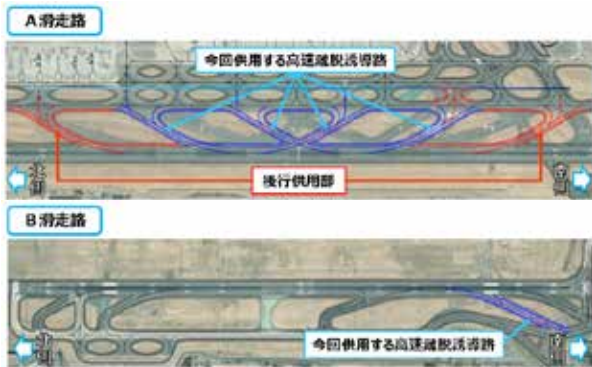
区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)				前回予想 (5月12日 発表)
	2017年度 実績 A	2018年度 実績 B	増減		2017年度 実績 C	2018年度 見通し D	増減		
			数量 B-A	% B/Ax100			数量 D-C	% D/Cx100	
航空機発着回数(万回)	12.7	12.9	0.1	101.0	25.2	25.6	0.3	101.2	25.6
国際線	10.0	10.3	0.3	102.9	19.9	20.3	0.4	102.0	20.3
国内線	2.8	2.6	▲0.2	94.0	5.4	5.3	▲0.1	98.4	5.4
航空旅客数(万人)	2,054	2,173	119	105.8	4,094	4,368	274	106.7	4,292
国際線	1,669	1,811	142	108.5	3,348	3,627	279	108.3	3,542
国内線	385	362	▲23	94.1	746	740	▲6	99.2	750
国際航空貨物量(万トン)	114	110	▲3	97.0	228	225	▲3	98.7	237

(注)航空取扱量は、単位未満を四捨五入して表示

## 新たな高速離脱誘導路 先行部供用開始

成田空港では、2020年夏ダイヤでの時間値72回を達成するため、A滑走路で6本、B滑走路で1本の高速離脱誘導路を現在の航空機の性能等に最適な位置及び形状に合わせて再編整備を進めていますが、12月6日(木)から、このうちA滑走路の内側4本とB滑走路の1本を先行して供用します。

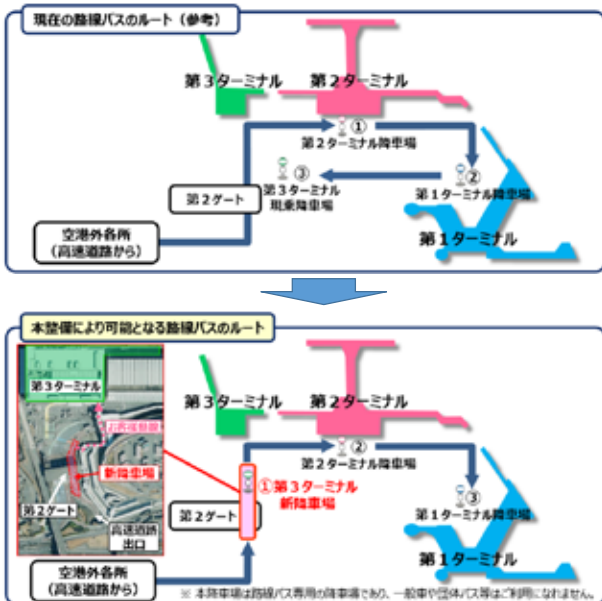
残りのA滑走路の2本については、2019年度末までに整備し、また、時間値拡大に伴う駐機場等の整備を進めるとしています。



## 第3PTB バスでのアクセスが便利に

2019年3月から、第2ゲート付近に、高速道路を経由する路線バス専用の乗降場が新設されます。

これにより、これまで第3PTB前を通過し最後に第3PTBに停車していた路線バスが、道順に合わせて最初に第3PTBに停車することとなり、第3PTBへのバスでのアクセスが約10分短縮されることとなります。



## 航空各社の動向

### タイ・ライオンエアー 成田ーバンコク線 新規就航

タイのLCC、タイ・ライオンエアー(SL/TLM)は、12月7日(金)から、成田ーバンコク線に1日1便で新規就航します。

使用機材はA330-300型機、座席数はプレミアムエコノミークラス18席、エコノミークラス374席の計392席で、使用ターミナルは、第1PTB北ウイングです。

同社は、2013年6月に設立したインドネシアのライオンエアーグループのLCCで、資本金は6億バーツ(約20億円)、A333型機とB739型機を計33機保有し、タイ国内線14路線418便/週、国際線35路線216便/週、運航しています。

運航スケジュール(2018年12月7日~)  
成田ーバンコク

便名	運航時刻	運航日
SL301	11:00 - 16:15	毎日

バンコクー成田

便名	運航時刻	運航日
SL300	01:00 - 09:10	毎日

### LOT ポーランド航空 成田ーワルシャワ線 増便

LOT ポーランド航空(LO/LOT)は、2019年3月26日(火)から、成田ーワルシャワ線を週5便から週7便に増便します。

使用機材はB787-8型機、座席数はビジネス18席、プレミアムエコノミー21席、エコノミー213席の計252席です。

運航スケジュール(2019年3月26日~3月30日)  
成田ーワルシャワ

便名	運航時刻	運航日
LO80	11:30 - 15:00	毎日

ワルシャワー成田

便名	運航時刻	運航日
LO79	14:40 - 09:15(翌日)	毎日

運航スケジュール(2019年3月31日~)  
成田ーワルシャワ

便名	運航時刻	運航日
LO80	10:15 - 14:25	毎日

ワルシャワー成田

便名	運航時刻	運航日
LO79	15:10 - 08:40(翌日)	毎日

# 第30回講演会特別企画 成田空港開港40周年&国内20都市就航 記念シンポジウム

先月号に続き、9月21日にヒルトン成田で開催した、(一財)成田国際空港振興協会と成田国際空港(株)の共催による、第30回講演会特別企画「成田空港開港40周年&国内20都市就航記念シンポジウム」より、第2部「パネルディスカッション」の内容について紹介します。

## 【NAA 長田代表取締役副社長】

LCC各社の皆様に質問いたします。

「羽田空港がLCCにも完全に開放されたとしたら、それでも成田空港に残りますか」と「成田空港に残るとして、今の成田空港をどう変える必要があるでしょうか」という質問です。私自身としては、羽田空港の国内線が増える余地はなく、国内線が増えるとしたら成田空港しかないと考えております。増便するにあたり、航空会社にとって、機材・乗員をどのように確保していくかという問題や自治体と協力してどのように成田路線の知名度を上げていくかということもあるかと思えます。

成田空港への今後の希望や要望について、まとめてお伺いします。

では最初に、「Peachと合併して成田空港の便はどのようになるのでしょうか」という質問について、バニラ・エア五島社長をお願いします。

## 【バニラ・エア 五島前代表取締役社長】

私も、東京で地元奄美会というのがあり時折お邪魔しますが、皆さん、握手を求められ「ずっと末永く飛んでください」とおっしゃるので、いつも申し上げるのは「ありがとうございます、末永く乗ってください」というお話をしていますが、やはり需要の大きさと、このような利用者の声を聞くと、当然新しい会社でも継続していく必要がある路線だろうと考えています。

## 【NAA 長田代表取締役副社長】

ジェットスター・ジャパン片岡社長にお伺いします。

成田空港への要望と今後の展開について、どのような予定がありますでしょうか。

## 【ジェットスター・ジャパン 片岡代表取締役社長】

要望という部分では、就航地に行くとき必ず言われるのが、安いのはいいけど成田空港からどうしたらいいのと言われます。

やはりその辺の告知が、成田空港は国際空港というイメージで、成田空港から首都圏、または北関東にしっかりとした2次交通があって、かつそ

れも5分ごと、10分ごとに900円で乗れる。また、成田空港から北関東の方にもバスのアクセスがある、というような情報がしっかりと届いていないと感じます。

その辺をしっかりと告知して、羽田空港と成田空港と場所によってはそんな遜色は無く、今は、成田空港は国内線の空港として十分機能があるといった告知を、どんどん行っていただきたいと思っていますし、我々も、そういう努力をしております。

今後の展開ですが、私どもは成田空港にとって21番目の都市である高知空港に12月から就航しますが、おそらく次の成田空港の計画では30都市とか40都市があると思われ、その計画に沿って大きな数字を追いたいと思っています。ただ、今後、1日1便では足りない路線があると、2便・3便飛ばしたらどうだという話ですが、実は、夕方から夜にかけての成田空港の発着枠がもう既に非常に厳しく、私どもも、2便目、3便目飛ばしたいところですが、なかなか物理的に難しいということです。例えば、そういう難しい状況の中で、新規の国内線の特別な発着枠というのを別途つくっていただくことや、空港側からのサポートなども頂戴したいと思っています。

## 【NAA 長田代表取締役副社長】

成田空港に対する要望が出ましたので、後程NAA濱田常務にお聞きしますが、その前に春秋航空日本王会長にお伺いします。

利用者を増やしていくための地元との共同キャンペーンや、コードシェアなどの他社との協業、成田空港への要望があればお聞かせください。

## 【春秋航空日本 王会長】

要望から申し上げます。現在の当社の路線、特に国内路線ですが、就航便数から言いますとまだ少ないと思っています。就航路線の拡大よりも、今の就航路線の便数を増やしていきたいと思っています。更に言えば、広島線は1日2便とか、佐賀線は1日1便というのがあり、当社も、人材育成というところから、やはりパイロットの育成などに関して、ご承知のとおり国内線しか今できて

いない現状です。やはり国内線を利用したパイロットの育成も絡み、もっと地元に着実に根を張っていききたいという気持ちですが、路便を増やさないと、なかなかそれは難しいと思っています。

そのためにも、地元と一緒に、また成田空港と一緒に、様々な企画・イベントをやりたいなと思い、特に、就航している佐賀県といえばサガン鳥栖があり、広島県といえば広島カープがあります。スポーツや、青少年・若者に対するイベントをできれば一緒に打ちたいと思っています。

2番目の質問の、他社との協業ですが、我々としては、中国からの旅客をメインに、成田空港をベースにしているところで、三角形の運航が今後、どうしても出てくるものと思います。1つのところで、どうしても満足できなくなり、特に、当社が今扱っている海外個人旅行（FIT）の旅客、個人客の日本の滞在日数を見ると、6日間、7日間、8日間、10日間と、どんどん長くなっているのが目に見えています。長くなるということは、たくさんのお客を周っているのではと思います。

そうすると、鉄道の輸送だけではなく、空路の輸送も今はまだわずかな量かもしれませんが、これからどんどん増えていくものと見ていますと、やはり他社との連携が不可欠なものであります。それは、国内旅行、日本の旅行となります。

今後、更に見ていきますと、ヨーロッパは逆かもしれませんが、アメリカや成田空港をベースにした北米への輸送も全く不可能ではないと思っています。なぜかと言いますと、去年・一昨年までは、大韓航空や韓国のエアラインがソウルをベースにしたソウル経由のロス行きや、中国の様々なところでキャンペーンを行ったり、非常にたくさんのお客がそれに乗ってアメリカに行かれ、その同じパターンで成田空港でもできないかと思っています。

そういったところも、日本国内だけではなく、成田空港をベースにした国際線・国際線を飛んでいるLCC、もしできたら我々と一緒に連携して事業拡大したいと思っています。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

今の話に関連して、香港・台湾・韓国に比べて日本はまだまだポテンシャルがあるということでしたが、現在、成田空港の場合、航空協定の取り決めで中国の航空会社の乗り入れ枠が既に上限に来ています。これが解消されれば、春秋航空の本体と春秋航空日本が組んで、成田空港を経由して日本各地、更には北米に行く、といった可能性もお考えでしょうか。

#### 【春秋航空日本 王会長】

まさに、今、NAA 長田副社長がおっしゃった話で、中国人観光客の今の動きから見ると、1カ所では満

足できなくなっています。1カ所は2日間あれば基本的に十分といいます、ではそれからどこかに回していくか。どこに行くかがこれから非常に重要なポイントではないかと思えます。

特に、今の中国人インバウンドの旅客を見ると、大阪府と成田市、そして名古屋、この3カ所が非常に集中しています。実際にリピーターの旅客がどんどん地方に散っています。散っている地方を見ると、やはり個人の利便性の高いところに行か行っておらず、例えば、青森県とか新潟県、まだ全然行っていない、もしそこら辺にLCCロビーイングができれば、そういったところにも旅客が行くことになるのではないかと思います。そのためには、LCC各会社との連携が不可欠ではないかなと思っています。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

続きまして、NAA 濱田常務をお願いします。

#### 【NAA 濱田常務取締役】

現在、成田空港では第3PTBの拡張プロジェクトを進めています、それに沿ってLCC各社様に将来的な展開の戦略を伺いながら、空港サイドで何ができるか協議を始めたところです。

最初に、ジェットスター・ジャパン様からご指摘がありましたが、成田空港から都心へのアクセスのPRが足りていないと、私どもも痛感しています。そこで、我々もターゲットを見直し、首都圏のお客様中心にPRしていましたが、今後は就航都市の利用者の方へのPRを強化していこうと考えております。

佐賀県の皆様には、我々がやらなければならない成田空港のロケーションの良さの営業活動を行っていただいておりますが、それを見習って我々も力を入れていかなければならないと思っています。

PRも大切ですが、NAAではアクセスの充実を重要視しております。1,000円バスと言われている、格安バスに増便を働きかけたり、また都心だけではなく、利用者の多いディズニーリゾート路線についても、バス事業者に料金を下げていただいた結果、同路線の利用者数は3割以上増加しました。今後も、アクセス路線を充実するとともに、充実した路線をお客様にどのように知っていただくかに一生懸命を入れていきたいと思えます。

次に、ジェットスター・ジャパン様からいただきました、飛行制限や夜間の時間制約についてです。現在、1時間に航空機が離発着できる回数が68回となっていますが、到着機が着陸してから誘導路に早く抜けられる、高速離脱誘導路の工事を実施しており、完成後は離発着回数が72回まで増加します。これにより、1日の中の1時間の幅での発着回数が多くなります。もう1つは、1日の長

さということで、夜間1時間の運用時間の延長を実施します。その中で、発着枠の増加に合わせて、国内線への配分数を増やすことも考えていきたいと思ひます。

また、既存路線の増便や各社間での連携については、ターミナル施設などに関するご要望があれば、これから積極的に戦略展開していく中で協議をさせていただきたいと考えております。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

続きまして、成田市小幡副市長にお伺ひします。先ほど奄美市朝山市長から伝統芸能まつりのお話がありましたが、LCCの就航を契機とした自治体間交流や協力体制などについて、現在取り組んでいることや、今後の予定についてお伺ひします。

#### 【成田市 小幡副市長】

例えば、このようなシンポジウムで情報共有を図ることや、お互いの取り組みを真似てできることは取り入れる、トータルでLCCを応援していくという動きを行っていくことは良い活動だと思ひました。

成田の姉妹都市は、現在国内は無く、海外は台湾の桃園市、アメリカの方は姉妹都市という言葉でなくとも、せつかくの就航先なのでこれから色々なネットワークを構築していきたいと思ひます。今日、成田市役所の空港部も来場していて色々感じることもあったと思ひますし、周辺市町の関係者の皆さんも来場しているかと思ひます。また、皆さんからのお話をヒントに、我々でできることに取り組んでいきたいと思ひます。

実は、私も成田市役所に来て、就航都市の自治体の連絡先の表・リストをいただけないかと聞いたら、有るような無いようなという感じでしたので、まずは、就航先の市町村の人口、首長の氏名、空港の担当窓口の連絡先や、主な観光やイベント・見どころなどのリスト化や、双方への情報発信など、お金をかけないでできることもあるかと思ひます。

本日、会場入口に「ビジネス香川」という香川県で無料で配られているミニコミ誌を何部か置かせていただきましたが、情報が無いと人は動かないと思ひますので、今後、成田空港に、そこに行けば成田空港からの就航都市の情報がわかる、様々な観光のパンフレットやフリーペーパーが集まったブースやコーナーのようなものが出来ないか。

首都圏にいと、九州のお祭りや、大学の様々な行事、どのようなビジネスが動いているのか、わかるようでわからないところがあるので、できるなら自治体情報コーナーのような、例えばそんなこともあるかと思ひます。

よく町中の観光地で、ニューヨークまで1万kmや、ロンドンまで5,000kmといった表示がありますが、

成田市に就航している各都市までの距離や方向などがあると、市民の方も身近に感じられるのではなどと、頭の中でいろいろと妄想は膨らんでいるので、空港周辺9市町とも連携しながら、こちら側の地元も一生懸命やっていきたいと感じていません。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

続きまして、ジェットスター・ジャパン片岡社長に、「人口減少の中、今後人材を確保していく上で、どういった課題認識と対応があるのか」について質問します。

それから、春秋航空日本王会長に対し、「中国の富裕層は、日本の旅行に何を期待していますか。また、プライベートジェットの利用は活発ですか」という質問が寄せられていますのでお伺ひします。

それから、バニラ・エア五島社長には「今後、中距離のLCCについて何かお考えがあるかどうか」という質問について、ご回答いただければと思ひます。

#### 【ジェットスター・ジャパン 片岡代表取締役社長】

人材確保ということで、私どもだけではなくて、おそらく日本の企業が非常に苦慮されていると思ひます。私どもでは、現在約800名のスタッフが成田空港で就労していますが、パイロット・整備士以外はかなり若いスタッフが多くいます。この若者たちは、成田空港周辺に多く住んでいます。1・2年経過すると、正直言ひましてだんだん飽きてくると言ひています。

やめる理由では、東京で住みたい・東京で働きたいというスタッフも多く、地元の方にお伺ひしたいのは、若いスタッフが成田空港周辺に定住できるように、住んで・働いて、本当に楽しい町、住んで楽しい町になるように、いろんな方策をぜひ小幡副市長をはじめ考えていただきたいと思ひています。

#### 【春秋航空日本 王会長】

まず、プライベートジェットから申し上げると、今は富裕層ではなく大富豪になりますので、ごく一部の人が使って日本に来ると思ひます。ただし、そういった人達はうちの会社の商品を扱っておりません。ついでに富裕層の話を申し上げると、我々が狙っているマーケット、ターゲットは、家族月収で3万元、中国は共働きです。1人1.5万元、合わせて3万元というイメージです。日本円にして約60万円の家庭で3人家族、またはこれから4人家族も出てくると思ひますが、こういった人達を狙って商品を売っています。ほとんどこの人達は、既に日本に来ていた人達も多いので、リピーター商品を造成していくのがこれから我々として手がけていきたいと思ひています。

リピーターは、東京や大阪、そういった所ではないのです。我々から見たら、成田空港が1つの玄関口として見ています。成田空港を通して、次にどこに行く、足をどこに延ばしていくかということで東京ではないのです。もしかすると福島県、もしかすると茨城県、その上の仙台市に行く。または栃木県に行く。そういったことを、今、非常に我々としては手がけたいと思います。日本のすごくいいところ、中国人目線から申し上げますと、風景がいい、大自然に囲まれ海もあって山もあって水もあるというのが非常に素晴らしい。あと、真っ青な空ですね。そういった風景に囲まれているということは環境がいい。その風景と環境を合わせていければと思っています。

それと、風情がいいです。風情というのは、私から申し上げますと、昔の伝統がそのまま残されています。残念ながら中国は失われた10年があるので、昔の文化・伝統はほとんど残されていないのは残念な結果です。それを、日本で再現されているという言い方は変かもしれませんが、日本は昔のもの、祭りや御神輿がそのまま残されているので、それは非常に楽しみにしています。それを知れば知るほど、見てみたいという旅客がリピーターになるので色々な所で祭りを見ます。

自分の友達の中にも、その地方の祭りを見てみたいと。ただし、自分が滞在する日にちが短いのでホテルが取れません。どうしても行きたいから、何とかしてくださいという友達があります。大体、こういったマーケットが出てくるので、既に日本を知っていて、知っている上で色々なものを見たいというのが、これから富裕層たちが求めるものじゃないかなと思います。

#### 【バナラ・エア 五島前代表取締役社長】

中距離マーケットについて、実は、LCCのいわゆるテキストブックと申しますか、ビジネスモデルの中では、どちらかというと小さい飛行機で短距離路線を1機が1日にどれだけ効率よく運航して、どれだけたくさんの便数を飛ばせるかにより一生産量当たりのコストを下げ安く売る原資にしています。そのテキストブックには、中距離と申しますか、長い路線はあまり商売として成り立たないと書かれています。

実際に長距離を飛ばしているLCCであっても、なかなか収益性に問題があることは、私たちも承知しています。とは言いながら、このアジアのインバウンドを政府の目標に増やそうとしています。現在のトップ4である韓国・中国・台湾・香港の4地域だけでかなりのマジョリティーを占めていて、その次に東南アジアの方からのインバウンドが、現在どんどん伸びてきているといった状況にあります。

LCCは現在、A320など短い航続距離の機材だけ

で飛ばしていますが、やはり日本は3分の2を海で占められており、それだけだとDestinyネーションとしても限界がある中で、東南アジア含め、距離の長いマーケットをどんどんやっけていかないと、需要はそこにあり取り込めていけないし、逆に取り込むべきだと思っています。それが、日本が好きだといったような、インバウンドの方がどんどん日本に来られるように、LCCとして求めやすい運賃を提供していく、そこにビジネスチャンスがあるのであれば、やはりチャレンジしていきたいと思っています。それをなし得るためには、2つの会社が強みを統合して、さらにコストの競争力を高めることや、マーケティング力を高める、こういったところを活用していくことにより乗り越えていきたいと考えておりますので、ぜひ中距離マーケットへ進出して成功させ、そういう日本の皆さん、あるいは地方の皆さん含めて、多くの方にまた地元への経済効果含めて喜んでいただくような、そんなビジネスをやりたいと考えております。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

奄美市に対し、「非常にすぐれた自然環境がありますが、観光客が増えたことにより、環境保全との関係で大丈夫ですか」という質問がでていますが、朝山市長から何かございますか。

#### 【鹿児島県奄美市 朝山市長】

世界自然遺産のことではないかと思えます。今年の5月に、国際自然保護連合(IUCN)より指摘を受けちょっと待たされたかかりました。国としては、この貴重な野生動植物の生態系を確実に守っていくと、その前提条件としてユネスコから示された国立公園化にしたところ。そしてそれを担保に申請をしたのですが、少し待てという指摘が2・3点ありました。したがって国としてはそれを一度取り下げ、もう一度指摘されたことを整えた来年の2月1日に再度申請をするという方針が打ち出されました。そして、県・我々地元市町村も、まさにそのとおりではないかということで、現在、指摘事項について鋭意努めているところです。ただ、その際に1つ懸念されることは、今後、ユネスコに対する自然遺産登録並びに文化遺産は各国1つだということが示されました。以前は、文化遺産と自然遺産と別々に申請していましたが、今後は文化遺産も自然遺産も1つにまとめて出すよという指摘が極端に言うとなされています。

奄美市・奄美群島においては、徳之島、そして沖縄島、北部の方のやんばる地域、西表、この県にまたがる4カ所の自然をしっかりとまとめて国に出すということになっているので、鋭意、国においてはそれを念頭に置きながらやっていただいていると確信はしているものの、来年の限られた期間の中に方針をまとめて、しかも閣議決定をし

て出しますので、そのことについては若干の不安がないとは言えませんが、ただしそれに備えて、私どもは、地元としてやるべきことをやっているつもりです。

関係市町村が、生態系を守るための、野犬・野猫・野ヤギなどの適正な飼養をするということ。そして、希少な動物・植物を盗採・盗掘することがないように条例をつくり、お互いに罰則規定も含めながらずっと守っていこうと、当然のことながら、ルールづくりはやっていこうとしています。

そういう中において、少しずつインバウンドとまではいきませんが、観光客も増えています。その際、自然の保護継承と、いい意味の利便性を提供するため極端に言うとも開発になるかもしれませんが、そのバランスをしっかりとっていくことが肝要であると思います。そのために、お迎えする皆さん方により良いイメージを与えるための空港や港湾の整備・道路の整備、そして景観の整備、あわせて動植物を守るための自然に負荷をかけないルールづくりと、地元の皆さんがその自覚と、責任を持って守っていくということです。

そして、来島者の皆さまにも、ぜひともこれだけは守っていただきたいというためのエコツアーガイドの養成。そして、インバウンド対策を含めての、奄美に限られた特定通訳案内士の養成など行っており、英語はもちろん、一昨年から中国語、そして今年から韓国語も加わっていくかと思いません。エコツアーガイドも、各市町村に何名か誕生しているので、自然を守ること、そして文化を継承していくこと、そして、お迎え・おもてなしの心をしっかりと整えるという、当然のことをしながらやっていますので、どうかご来島いただく皆さま方も、地域にいらっしゃるときはその地域のお願いやルールを守っていただければ、必ずや立派な環境として国が責任を持ってユネスコに申請する手はずになっています。そのためにはまず、地元に住む我々がしっかりとした自覚を持って、責任を持って努力をするということが肝要です。

また、皆さんがお気づきの点がありましたら、ご教示・ご示唆いただければ、しっかり守ってまいりますので、よろしくお願ひします。

#### 【NAA 長田代表取締役副社長】

皆様、本日は誠にありがとうございました。

最後に、成田空港の国内線を更に充実させていくためには、LCC各社様と就航先自治体、そして成田市やNAAを含めた地元、この3者がしっかりと連携をして、空港アクセスや周辺観光地の情報なども含めた成田LCCの認知度を上げていくことが一番大事ではないかと思っております。

現在のNAA中期経営計画で掲げた国内就航20都市という目標は、おかげさまで達成することができました。現在、年間750万人のお客様が成田LCC

を利用していますが、次は1,000万人を目標にしたいと考えております。

また、西日本に就航都市が集中しているの、東北や北海道にも就航していただければありがたいと思っております。

本日ご来場の皆さま方をはじめ関係者が一致団結して、成田LCCの更なる発展に尽力し、就航地の地域振興にもつながることを期待しまして、本日のディスカッションを終了いたします。

— 了 —

**10月の訪日客 264万600人  
10月として過去最高に**

日本政府観光局(JNTO)が発表した10月の訪日外客数は、昨年10月の259万5,148人を約4万人上回る、前年同月比1.8%増の264万600人で、10月として過去最高を記録しました。

韓国、台湾、香港は、昨年は10月上旬だった休暇が、今年は9月下旬となったことなどもあり、前年同月を下回っています。

一方で、欧米豪については、好調なクルーズ船需要や訪日旅行プロモーションの効果により、9カ国・地域すべてで好調な伸びを示し、訪日外客数全体としては増加となっています。国・地域別では、16カ国・地域(中国、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン)が10月として過去最高を記録しています。

なお、1月からの累計では、ベトナム(33万人)、イタリア(12万9,000人)、ロシア(7万9,000人)、スペイン(10万4,000人)の4カ国・地域が10月までに昨年の年計を超え、過去最高を更新しています。



## ナリタエアポート クリスマス・フェスティバル2018

今年も、成田空港で一足早いクリスマス・フェスティバルが開催されます。

- 開催日：2018年12月8日(土)
- 開催時間：11:00～18:30(開場10:00)
- 会場：第2PTB前 中央広場
- 主催：クリスマス・フェスティバル実行委員会

### 【プログラム】

11:00 オープニング	14:20 magical <sup>2</sup> from マジマジョピュアーズ!
11:10 Libera・Allback ダンスパフォーマンス	15:15 IUHW 成田オーケストラサークル
11:30 千葉ロッテマリーンズ・ダンスアカデミー	15:50 サニーサイドゴスペルクラブ船橋&幕張
12:30 空港周辺市町PR抽選会	16:25 ANA NRT Sky Band
13:20 ちかけんトークライブ 「竹灯りってナニ?～作ってみよう竹灯り～」	17:00 お楽しみ抽選会
13:45 JAL コーラス	17:40 クリスマスツリー点灯式
	17:50 Do As Infinity スペシャルライブ
	18:30 エンディング

空港内には当イベント専用の駐車場はございません。

空港内駐車場(有料)は数に限りがあり駐車できない場合があるので、公共交通機関をご利用の上ご来場ください。

## CS セミナー

開催場所は、第2PTB2階の国際会議室(M2244)です。

### ■カタカナ英語セミナー

日時 12月7日(金) 14時00分～15時30分  
定員 30名  
講師 (株)J-Labo 宇都宮 智美 氏  
内容 外国人のお客様におもてなしの心を印象付ける「カタコトでもしっかり通じるカタカナ接客英語」を伝授します。

### ■英語セミナー(中級接客英語(実践編))

日時 12月18日(火) 14時00分～15時30分  
定員 30名  
講師 (株)IB ジャパン  
内容 空港内でよく聞かれるシーンをもとに役立つフレーズを紹介します。

### ■中国語セミナー(挨拶・館内施設案内編(超入門))

日時 12月11日(火) 14時00分～15時30分  
定員 30名  
講師 (一財)成田空港振興協会 栗栖 尚美 氏  
内容 挨拶はもちろん、簡単な施設案内まで学べます。中国語に苦手意識のある方も楽しく学べるゼロからの超入門者向けのセミナーです。

### ■接客マナー講座(応用編・基礎編)

日時 応用編 12月12日(水)  
基礎編 12月14日(金)  
どちらも14時00分～15時30分  
定員 どちらも30名  
講師 応用編  
(株)GMR 元JALスカイ主任教官 田井 暢子 氏  
基礎編  
(株)ノビテク 越山 揺巳香氏  
内容 接客の基本の表現、挨拶などを楽しく学ぶ「基本編」、お客様のご意見から実践的に学ぶ「応用編」です。

### 【お問い合わせ】

成田国際空港振興協会 セミナー担当 栗栖・加藤  
0476-34-6333 Email: cs@npf-airport.jp

## 航空科学博物館

12月1日～12月31日(月)までリニューアル工事により休館となります。

1月1日(火)から開館となりますが、しばらくの間、一部利用できない施設がありますのでご注意ください。

## 新年賀詞交歓会のご案内

年頭恒例の『成田国際空港 新年賀詞交歓会』を下記により開催いたします。  
本年1月4日は、118社501名が参加しました。  
新規会員を募集していますので、入会を希望される企業は12月14日(金)までに事務局へお問合せください。

開催日時：平成31年1月4日(金) 14:00~15:00(13:30受付開始)

会場：ホテル日航成田 大宴会場『鶴の間』

参加者：官公署、会員企業・団体

会費：2万円(1企業)

主催：日本空港ビルデング(株)《当番幹事》

全日本空輸(株)

日本貨物航空(株)

日本航空(株)

成田国際空港(株)

事務局：一般財団法人成田国際空港振興協会(Tel.0476-34-6343)



会場の様子 (H30.1.4開催)

## 尾翼

「平成30年秋の叙勲」におきまして、当協会の深谷会長が、「瑞宝重光章」を受章されました。誠にめでとうございます。協会として大変名誉なことであります。

この章は「国家又ハ公共ニ対シ積年ノ功労アル者」に授与すると定められており(勲章制定ノ件3条1項)、深谷会長は海上保安庁長官を退官するまで長年にわたり、公務に従事して功労を積み重ねてこられました。

協会は、12月末をもって宝くじ販売事業を取り止めることとしました。いままで長い間ご愛顧いただきまして誠にありがとうございました。宝くじは購入金額の約40%が地域貢献に使用されており、当協会の事業目的に沿うことから平成8年から販売を行ってきたところです。

一方、最近では全国的に販売実績が右肩下がりの傾向を示し、協会においても同様な傾向を示しております。こうした状況から同事業の収益はここ数年厳しい状況が続いております。さらに、先月からはネット販売が開始され、クレジットカードで購入できるなど宝くじの販売環境も変わってきております。

かつて第1PTBや貨物管理ビルにも販売店舗を構え、現在は第2PTB出発階における店頭販売に加えてNAAとその関連会社、臨空ビル、貨物地区などに出向いての販売を行ってきました。苦勞して宝くじを販売してきた先輩諸氏の努力が目につかび、忍び難いことですがどうかご理解を賜りたいと存じます。同事業に係る人的な経営資源は、東京オリンピックの空港ボランティア運営業務などに振替え、協会の事業を円滑に進めてまいります。

創立30周年を契機に協会本部を全面リニューアルします。保育ルームたんぼの開園とともに現在の場所に移転してから15年が経過し、30周年を迎えた協会の新しいスタイル「Smile & Innovation」の実践としての「Renovation」です。12月中旬完成を予定しております。是非お立ち寄りいただきたいと存じます。

(T・S)